

高木 顕明師

日帰り

遠松忌法要 バスツアーの ご案内



かつて、親鸞聖人のお念仏の教えをいただきました。
仲間と共に非戦平等を唱えた僧侶がいました。

「前を訪う 今、この時代に聞く非戦・平等の願い」

大阪教区では遠松忌法要に参拝するバスツアーを実施いたします。かつて明治時代、親鸞聖人の教えをその身に受けとめつつ、思いを同じくする仲間たちと共に、非戦平等を唱えた僧侶がいました。それが高木顕明です。のちに彼らは国家によって冤罪に処せられ、顕明自身はさらに東本願寺から除名されてゆきます。それでも信念にもとづき、信仰に生きようとした彼の生涯は時代を超えて我々の心をうつものです。ぜひご参加ください。

6月17日

開催日 2023年 6月 17日 (土)

講師 尾畑 文正氏 (同朋大学名誉教授、三重教区泉称寺前住職)

開催日程 8:00 難波別院集合 (詳細は裏面を参照ください。)

～移動・バス内で昼食 (お弁当付)

13:00 新宮・浄泉寺にて法要参拝

13:30 記念法話

15:00 顕彰碑参拝/交流会

17:00 新宮出発

※途中「道の駅」へ立ち寄りますが夕食等は自己負担をお願いします。

21:00 難波別院帰着 (予定)

参加費用 10,000円/1名・学割 8,000円/1名 (定員約40名)

お昼ごはん (お弁当) と記念品をご用意いたします。

移動中、オリジナルビデオによる学習を行います。

主催：大阪教区教化委員会

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

みんなに原真いがかけてる

氏名		電話番号	
住所			
【通信欄】 学生です ← 学生の場合は○で囲んでください。学割対象となります。			
※ 健康・食事に関して伝えておきたいことがあれば、ご記入をお願いします。			

申込締切：2023年6月2日（金）※ 定員（約40名）になり次第、締め切る場合がありますのでご了承ください。

ごあんない

明治の時代に和歌山県新宮で、差別と貧困に喘ぐ被差別民と共に同苦した真宗の僧侶、高木顕明師がおられました。師は日露戦争の開戦に新宮の仲間と共に反対したことなどにより国家から思想弾圧を受け「大逆事件」に連座し無期懲役刑に処せられ、真宗大谷派は師を擯斥（永久追放）に処しました。教団が追い出したことにより出獄しても帰る寺がなくなった師は1914年に秋田監獄で縊死されたのです。教団が慚愧の念をもって顕明師の復権を行ったのは1996年です。実に86年間も私たちは顕明師を時代の闇に葬ってきたことになります。

2000年に新宮市の各所で開催された「大逆事件」から人権を考える「人権と文化 新宮フォーラム2000」に参画し、それ以来毎年、真宗大谷派主催による遠松忌法要を勤めております。顕明師が亡くなられて100年の節目を超えました。

遠松忌法要は「前を訪う 今、この時代に聞く非戦平等の願い」のテーマを掲げています。今、この時代に何が起こっているのでしょうか。ロシア連邦によるウクライナへの軍事進行が長期化し、街が破壊され、多くの死傷者が出ています。また、その状況の中、日本では「国家安全保障文書」などの3つの文書が閣議決定され、防衛費の増大等、戦備を強化する動きが見られ、私たち一人ひとりが大きく問われているのではないのでしょうか。

顕明師は著書の『余が社会主義』で「此の闇黒の世界に立ちて救ひの光明と平和と幸福を傳道するは我々の大任務を果すのである。諸君よ願くは我等と共に此の南無阿弥陀仏を唱へ給ひ」と念仏の声をあげられております。その念仏の声を聞くということは、私たちが作り上げたこの火宅無常の「暗黒の世界」に一人ひとりが責任をもつことであり、「救ひの光明と平和と幸福を傳道するは我々の大任務を果す」ことではないかと顕明師から問われているということではないのでしょうか。

お問合せ
集合場所

〒541-0056

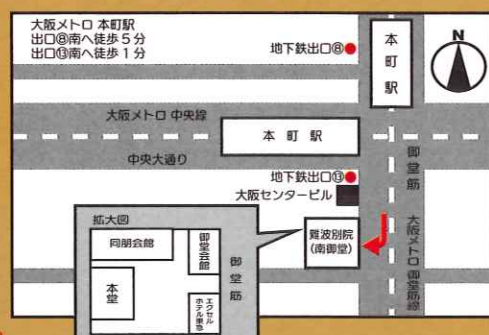
大阪府中央区久太郎町 4-1-11

難波別院（大阪教務所）

TEL 06-6251-4720

fax 06-6251-4796

E-mail osaka@higashihonganji.or.jp



※ 境内に駐車場はございません。ご来場には公共交通機関をお使いください。